

きんもくせい

災害医療の最前線で 命をつなぐDMAT



DMATとは「災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team」のことで、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場にいち早く駆けつけ、救急医療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームです。

当院のDMATは、医師2名（*ローカルDMATを含む）、看護師5名、業務調整員5名（薬剤師・臨床工学技士・事務職員等）計12名で編成され、有事に備え日々の訓練、資材の点検などを行っています。

*ローカルDMAT…静岡県内で活動を行う者



〒436-8555 掛川市菖蒲ヶ池1番地の1 ☎0537-21-5555

ホームページ <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の院内報をホームページでご覧いただけます。

中東遠 検索

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



お子さんとご家族に温かい看護を提供しています

小児科では、胃腸炎・川崎病・喘息など、様々な疾患をもつ子どもたちが入院しています。お子さんの入院には、医師や看護師などの医療従事者だけでなく、ご家族の協力が必要です。なぜなら、ご家族の温かい愛情は子どもたちの心のよりどころになるからです。私たち看護師は、お子さんが適切な治療を受け、ご家族も安心できるよう支援しています。

病棟では疾患に対する理解を深めるため、毎月小児科医師による勉強会を行っています。先日は、熱性けいれんの勉強会を行いました。熱性けいれんとは、主に6ヶ月から5歳までの乳幼児が起こす38度以上の発熱がみられるけいれん発作です。約10%の子どもが熱性けいれんを経験するといわれており、決して珍しい疾患ではありません。しかし、お子さんが突然けいれんを起こすと、ご家族は強い不安を覚えます。その時、不安を少しでも軽減するために「看護師や医師がついているので安心してくださいね。」と積極的に声をかけています。

これからも、小児の病気とその看護について広く深い知識をもって、回復の手助けをしてまいります。

4階東病棟 看護師 芝田 舞衣



看護部通信

チーム医療を支える

コメディカル

理学療法士



リハビリテーション室の特徴は、地域の基幹病院として整形外科疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、廃用症候群、生活習慣病などの疾患に対し、超早期から理学療法を提供していることです。また、地域の皆さまへ健康増進・障害予防を目的とした講習会、産前産後に対する母親教室、野球障害予防教室、高校野球メディカルサポート、市町駅伝掛川市選手団トレーナーなど様々な場所で活躍しています。

私は、今年度から理学療法士として当院に入職しました。少しずつ職場にも慣れ、日々やりがいを感じ仕事に励んでい



ます。今後も、院内外問わず、色々な場所で活躍できる理学療法士を目指して頑張ります！

リハビリテーション室 理学療法士 平野 友太

10月の診療実績

1日あたりの患者数		
入院	444人	
外来	1,244人	
紹介率	80.6%	
逆紹介率	92.2%	
病床利用率	88.9%	
平均在院日数	10.3日	
手術件数	390件	
救命救急センター受診者数	1,675人	
救急搬送件数	505件	

新任医師のお知らせ

【11月1日付採用】

耳鼻いんこう科 小黒 美樹 医師
よろしくお祈りします



職員を募集しています

募集職種 看護師・助産師・薬剤師・臨床工学技士・事務職員・社会福祉士

申込締切 1月17日(水) 試験日 1月27日(土)

採用日 平成30年4月1日 経験者の方は応相談

詳細はホームページをご覧ください





総合病院における整形外科の役割と私のつぶやき

整形外科診療部長 小松 知也 医師

当院の整形外科の初診が紹介制となりました。理由は、入院加療及び手術に、より専念するためです。

薬や注射、リハビリで安定した保存的加療の患者さまは、かかりつけ医や整形外科の開業医に通院し、種々の検査や入院加療が必要な方は当院へ紹介していただきます。総合病院と開業医の機能分担と、連携強化による地域医療体制にご協力をお願いします。

整形外科とは？もちろん医療の基本原則『人の自然回復力の手助けをする』+ 日々の活動性を回復・維持することです。

私が主に担当する膝・肩関節では漫然と投薬や注射をするのではなく、回復が見込めれば積極的に手術を行います。なるべく自分の関節が温存される手術を第1に選択します。関節の温存ができない場合は、人工関節置換術を行います。スポーツ整形も基本原則は同じで、障害に対して復帰するお手伝いをするのですが、こちらは保存的加療が主体です。簡単にいうと運動するための体調作りです。

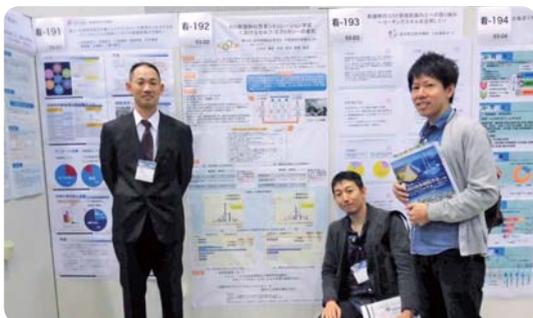
最後に私ごとですが、医療を提供するためには自分自身の健全性保持は大切なことです。私はロードバイクを趣味にして、年に何回かヒルクライムレースに参加しています。苦しさ^{あえ}に喘ぎますが、頑張っている方々を思い出し、自分も頑張るようにしています。

引き続き、整形外科医として地域医療に貢献してまいりますので、よろしくお願い致します。



全国自治体病院学会で発表しました！

第56回全国自治体病院学会が10月19～20日に千葉県で開催され、当院からは10演題を発表しました。



▲ 学会会場で (左端が大村看護師)

集中治療室の看護師として、患者さまの急変時に速やかに質の高い対応を行えるよう、勤務後に自主的に集まり急変時シミュレーション学習を行い、その成果を発表してきました。

学会で様々な病院の取り組みや多職種との意見交換を行うことで、良い刺激となると共に新たな課題も多く見つけることができました。

また、一緒に参加した新人職員が積極的に質問している姿を見て、共に質の高い医療を提供できる確信を持つこともできました。

ICU・CCUセンター 看護師 大村 泰正

発表者及び演題

所属(職種)	氏名	演題
手術センター(看護師)	工藤 美和	手術を受ける患者に術前説明の統一化 ～患者説明用パンフレット運用の試み～
ICU・CCUセンター(看護師)	大村 泰正	ICU看護師の急変シミュレーション学習におけるセルフエフェカシーの変化
7階西病棟(看護師)	大庭 光晴	急性心筋梗塞発症患者への退院指導内容の検討 ～退院後の患者への質問紙で見えた指導効果と改善点～
4階西病棟(看護師)	櫻井 尚子	自宅で最期を迎えたいと望む終末期癌患者と苦悩する家族の意志決定支援
リハビリテーション室(作業療法士)	土井 美里	急性期リハビリテーションでの園芸活動導入について
リハビリテーション室(理学療法士)	深津 穂浪	宿泊人間ドック実施者に対する理学療法士による健康体操導入の試み
診療放射線室(放射線技師)	黒田 紗弓	Cアーム型X線TV装置における室内散乱線量測定と術者被ばく低減の検討
臨床工学室(臨床工学技士)	坪井 俊	内視鏡手術に用いる排煙フィルターの評価
臨床工学室(臨床工学技士)	植草 雄治	総合病院での臨床工学技士における 透析患者への末梢動脈疾患(PAD)予防への取り組み
教育研修センター(事務職員)	大村 泰久	多職種連携を推進する「職種共通研修」の取り組み

■ 受付時間：午前7時45分～11時00分

■ 診療時間：午前8時30分～

■ 緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

Table with columns for Department (診療科), Clinic (診療室), Day (日), and Doctor (医師). Rows are categorized by department (A: 整形外科, B: 循環器内科, C: 総合内科, D: 産婦人科, E: 泌尿器科, F: 皮膚科, G: 小児科, H: 眼科, I: 腫瘍放射線科, J: 血液浄化センター).

* (初)：初診、(再)：再診、(予)：予約、(紹)：紹介 *午後は予約のみ □入院患者さんへの面会時間 平日：午後1時～午後8時 土、祝日：午前11時～午後8時